

**平成30年度 豊明市老人福祉センター指定管理審査委員会
指定管理者審査委員会議事要旨**

日 時	平成30年7月27日(金) 14時から15時
場 所	豊明市老人福祉センター 相談室
出席委員	世古留美(委員長)、土方治、安藤敬之助、安井政雄、戸田秀幸、山崎榮一、藤井和久、小串真美、加藤育子 (敬称略)
欠席委員	加藤 誠
指定管理者	シンコースポーツ(株) 今枝知也、市橋克之、五十嵐淳
事務局	小川正寿、松本小牧、山田沙緒里、平山英人
傍聴の可否	不可
議 題	(1) 平成29年度指定管理実績報告について (2) 平成29年度モニタリングレポート(年次評価)について (3) 平成30年度指定管理者事業計画について (4) 平成31年度以降の指定管理者選定について

議事の要旨

- 1 委員長挨拶
- 2 委員委嘱(委嘱状交付、各委員自己紹介)
- 3 議 題

(1) 平成29年度指定管理者実績報告について

指定管理(シンコースポーツ株式会社名古屋支店)より、平成29年度年間利用実績、収納実績報告書、収支報告書について報告。承認を得た。

ア 利用者人数は13,000人を超え、昨年比としては91%となっている。

イ 趣味講座・教室は市から委託された事業となっている。

ウ その他の団体では、ボールペン画と読書サークルは平成29年度からの新しいサークルとなる。

エ 施設内修繕は、室外機修理を含めて平成29年度7回行った。

オ 施設内において事故は2件発生。(いずれも完治している)

(ア) 質疑・応答等

- ・ 趣味講座の編物教室の利用人数が減ったには理由があるのか。

(回答)平成29年6月より休止となっているため。(指定管理者)

- ・ 全体的に利用人数が減っているが、理由があるか。

(回答)団体の会員が減っているのが現状です。その他に、高齢化により来所することが難しくなった方が増えている。新たに60歳以上になり、新規で利

用される方の数より、来所できなくなった方が多いのが現実です。
(指定管理者)

- ・ 使用証・使用許可証はお風呂の登録数であるか。

(回答) お風呂の新規登録になります。31名です。(指定管理者)

- ・ 今回団体での使用証・使用許可証について、既存の団体からの申し込みはいないか。

(回答) 年度に1回登録日がありましたが、利用団体はありませんでした。
平成28年度もありません。(指定管理者)

- ・ 収納実績報告書の維持管理業務の修繕が7回あるが、維持管理者の負担の金額は決まっているのか。

(回答) 5万円以下が指定管理者の負担になります。それ以上は市が負担するルールになっています。浴室の配管やエアコン等を平成29年度は修繕しています。平成30年度でも室外機の修繕を1回行っています。古くなっているのが故障が増えているのが現状です。(事務局)

(2) 平成29年度モニタリングレポート(年次評価)について

健康長寿課共生社会係より、平成29年度モニタリングに基づき、モニタリングレポート(年次評価)について説明。

また、団体の経営に関する事項については、事前に山崎委員に分析を依頼し、分析結果の報告を受けた。

当審査委員会のコメントとしては、「利用者が高齢者ということで、臨機応変な対応をしており、利用者からの要望に応えつつ、安定したサービスが提供されている。施設設備についても適時修繕し、利用者が快適に利用できるよう対応が行われている。

収支も努力により黒字経営となっている。利用者の利用しやすい施設を目指しつつ、利用者に喜ばれるサービスの提供をしていただきたい。また、指定事業についても適切に実施されたい。趣味講座の見直しや介護予防事業や健康マージャン等の事業を活用し、利用者拡大に努めていただきたい。清掃に関しては、アンケートを工夫し、アンケート内にコメント記載ができるようにし、意見を反映できるようにしてもらいたい。」とし、年次評価と合わせて評価を得た。(モニタリングレポート(年次評価)については、別添)

ア 質疑・応答等

- ・ アンケートの方で清掃状況について「やや不満」が増えているが、何か要因はあるのか。

(回答) アンケート結果の清掃状況について、「不満」や「やや不満」が増えている

ことについては、担当課としても注目しているところです。具体的に何があったか詳細に調べていかないといけないと思っています。不満があったところについては、何があったのかより具体的に記載できるようなアンケートに変えていく必要も感じています。(事務局)

・利用頻度をみると週1～2回の利用者は、平成28年度は49%だったのが、平成29年には40%に下がっている。このことが利用者数の減少に影響しているのではないか。

(回答) 利用内容を見るとサークル活動の減少が影響していると思います。(指定管理者)

趣味講座の利用人数が極端に減っていることも影響していると考えます。趣味講座の見直しも今後の利用者拡大には必要ではないかと考えます。介護予防事業の利用者数は順調に推移しています。このことを勘案しても利用者数が全体で減ってきているのは今後、対策を考えていく必要があると考えています。(事務局)

介護予防教室の一つとして健康マージャンをきずな室にて行っています。男性の参加者も増え、盛況をいただいています。(事務局)

・交通の便がないことも利用人数が増えないことに影響しているのではないか。
(委員)

・平成30年1月～3月分のモニタリングチェックシートにおいて、サービス提供の安定性の確認の事業収支の黒字の欄はB評価だが、区分評価がA評価になっているのはなぜか。

(回答) 黒字の考え方ですが、実際には収支の面でプラスになっていますが、大きな黒字にはなっていません。マッサージ機と物販により黒字になっている不安定な現状であるため、今後も課題が残ると考え、その欄についてはB評価にしました。(事務局)

・物販に関して、何か工夫を行っているのか。

(回答) 固定の利用者が多いため、利用者の声を反映し、かおり等を変えて販売するようにしています。また、写真付きで示したりと高齢者の方でも見やすく、わかりやすいように工夫しています。浴室の入り口に物販販売品等を掲示するようにしています。(指定管理者)

(3) 平成30年度指定管理者事業計画について

平成30年度老人福祉センター事業運営計画書、事業管理計画書、自主事業計画について指定管理者より説明。

- ア 平成30年度においても盆踊り大会を計画している。また、落語の寄席やマジックショーを計画している。
- イ 老人作品展については、老人クラブと協力して実施していく予定。
- ウ 物販については継続して実施予定。

(ア) 質疑・応答等

- ・利用者を増やすための取り組みは行う予定か。

(回答) 個人利用者を増やすことが目標です。まずは集いの場としてどう利用していただくか、その方がその後に趣味講座を利用し継続的に利用してもらいたいと考えています。まずは、老人福祉センターを知ってもらうために広報とよあけに老人福祉センターについての施設紹介等を定期的に掲載する等の広報活動を行っていきたくと考えています。媒体を活用し、広報活動を行っていきたくと思っています。(指定管理者)

- ・高齢者が利用しやすいよう移動手段を確保しないといけないと考える。(委員)

(回答) 高齢者の移動手段の問題は、高齢者施策の中でも課題となっています。移動手段の確保は担当課としても今後の課題と考えています。7月24日からアイシン精機とスギ薬局との協力を得て「チョイソコ」の認証実験を行っています。今後も高齢者の移動手段について色々な部署とも協力しながら確保できる方法を進めていきたい。(事務局)

(4) 平成31年度以降の指定管理者選定について

平成31年度指定管理者募集要項、豊明市老人福祉センター業務仕様書、提出書類、様式集について事務局より説明し、承認を得た。

ア 質疑・応答等

- ・募集要項の中で指定管理料の金額が変わった理由は何か。

→上限額であるので、この範囲内で業務を行うこととなります。積算としては、前年度から新たに追加した者があります。老人作品展でスタッフが不足、健康長寿課の職員を派遣し、業務を行っている状況です。職員も日々の業務を行いながら、作品展の運営を手伝うことに支障をきたしているため人件費を追加しています。また、施設の光熱費を加えています。(事務局)